

平成28年度 スポーツトレーニング教育研究センター事業報告書

スポーツトレーニング教育研究センター長 山本 正嘉

I. 主に取り組んだ事業

1. 子供の体力向上プロジェクト

本センターの研究協力校と連携し、学校教育の中で実施可能な、児童生徒の体力を増進するための運動プログラムを開発する「子供貯筋プロジェクト」を実施した。

2. アスリートドックプロジェクト

本学学生を含め、子供からシニア選手までの幅広いアスリート層を対象に、競技力向上のための体力・技術の評価を行い、それをフィードバックするシステムを開発する「アスリートドックプロジェクト」を実施した。

II. 事業報告

1. 教育プロジェクト

該当なし

2. 研究プロジェクト

1) 学校現場で活用できる体力向上を促す運動プログラムの開発

小・中学校（花岡学園）での研究（高井）

2) アスリートドックプロジェクト

①本学の各種競技スポーツ選手（剣道、バスケなど）を対象とした研究（山本）

②高校生の柔道選手（鹿児島県立鹿児島南高校）を対象とした研究（藤田）

③高校生の自転車競技選手（鹿児島県立南大隅高校）を対象とした研究（山本）

④中学生の陸上競技選手（鹿屋市立吾平中学校）を対象とした研究（高井）

⑤小・中学生の柔道選手（福岡県柔道協会）を対象とした研究（藤田）

⑥スポーツ・登山のための低酸素トレーニングプログラムの開発（山本）

3. 社会連携・社会貢献に関する事業

1) 鹿児島県教育委員会と連携して、スポーツ指導者のための再研修セミナー「スポーツリフレッシュセミナー」を、1泊2日で開催した（山本）

2) 鹿児島県教育委員会と連携して、鹿児島国体に向けての各種競技団体の体力測定を実施した（高井）

4. その他の事業

1) スポーツカウンセリング室を運営した（山本）

III. 決算報告

1. トレセン運営経費関係

区分	金額	備考（使用内容）
人件費	371 千円	賃金
物件費	2,868 千円	備品費、消耗品費 等
その他	1,382 千円	旅費、謝金、保守費 等
計	4,621 千円	

2. 研究プロジェクト関係（アスリートドックプロジェクト）

区分	金額	備考（使用内容）
人件費	624 千円	被験者謝金 等
物件費	1,084 千円	消耗品費、修繕費 等
その他	956 千円	旅費 等
計	2,664 千円	

3. 社会連携・社会貢献プロジェクト関係
特になし

4. その他
特になし

IV. その他

1. 発刊物：

『スポーツトレーニング科学』第 18 巻の刊行（平成 29 年 3 月）1-59 頁

『トレセンニューズレター』第 21 号の発行（平成 28 年 12 月）

2. 会議：本センター協力校等連絡会議の開催（平成 28 年 9 月）

＊ 以上の事業に関する報告の詳細は『スポーツトレーニング科学』第 18 巻に記載した。